

特集 宅配ボックスのすすめ

宅配ボックス配布で市内再配達32%減!

岡市民環境課環境政策室 TEL22-6828

■ コロナ禍における宅配ボックス配布

市では、まだ新型コロナウイルスが感染症法上の第2類感染症であった令和4年度中、対面での荷物の受け取りをせずに済むことによってウイルス感染防止を図ることを目的に、宅配ボックスの購入費用補助や市が用意した宅配ボックスの配布を行いました。



宅配ボックスがあると・・・

1. 対面しないため新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防につながります。
2. 配達員の再配達回避により、車両のCO2削減や労働時間縮減にも役立ちます。

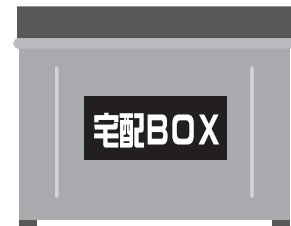
■ 二酸化炭素削減と宅配ボックス

市は、2050年までに二酸化炭素排出量の実質マイナスを目指す「カーボン・マイナス・シティ」を目標としています。この宅配ボックスを活用することで再配達回数の減少と二酸化炭素の排出を削減し、宅配の効率化を促進することができます。国土交通省によると、再配達のトラックから排出される二酸化炭素量は年間約25.4万トンにもなると推計されており、再配達の削減は市にとっても重要な施策の一つです。

令和4年度を通じて、市が新型コロナウイルス感染症防止を目的に始めた取り組みが、二酸化炭素排出削減にも役立つこととなりました。宅配ボックス購入費を最大5,000円分補助する事業を行うとともに、市の提携先である宅配事業者から宅配ボックスを購入・配布し、市内世帯数の約4分の1に当たる約2,600個を設置していただきました。

市の取り組み

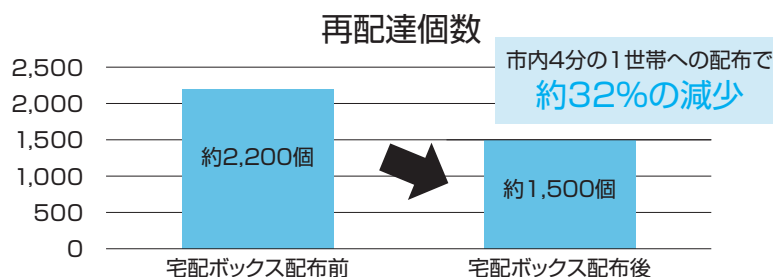
- ① 宅配ボックス購入費を最大5,000円分補助
- ② 宅配事業者から宅配ボックスを購入・配布



市内約4分の1世帯に宅配ボックス
約2,600個設置

■ 宅配ボックスの効果

宅配ボックス導入後、市内で配達業務を行うドライバーさんに実施したアンケートによると、宅配ボックス設置前の再配達は市内全体で約2,200個であったのに対し、設置後は約1,500個と約32%の再配達率削減に成功しました。



■ 現場の声

運送会社で市内を担当しているドライバーの皆さんから次のコメントが寄せられました。



宅配ボックスが配布されてから不在再配達が減り大変助かっています。
配達終了時間も30分以上早くなり、効率良く業務ができるようになりました。



配達中に他の運送会社のドライバーさんに会うと「最近宅配ボックスが増えて助かるね」と会話することがよくあります。当社だけでなく運送会社全体が山県市の宅配ボックス配布で助かっています。



不在再配達が多い日だと1日の走行距離が250キロを超える日もありました。
宅配ボックスが配布されてからは不在でも宅配ボックスに投函とうかんできるので、とても助かります。

■ もっと減らそう再配達

国土交通省・経済産業省では、総合物流施策大綱において宅配便の再配達率の削減目標(2020年度再配達率10%程度→2025年度は7.5%程度)を設定し、再配達率の削減に取り組んでいます。しかし、2024年4月からトラックドライバーへ時間外労働の上限規制が適用されることから、物流への負荷が高まる懸念されています。そんな中、宅配ボックスの利用は、再配達抑制にもつながりドライバーの皆さんの負担軽減にも役立っています。

今回の取り組みは、再配達を大きく減らすことができた顕著なケースとして、他の市町からも問い合わせがきています。しかし、依然として再配達は残っていることから、今後も再配達減少などを通じたカーボン・マイナス・シティ実現に向け取り組んでいきますので、皆さんのご協力よろしくお願いします。

カーボン・マイナス・シティ
実現への挑戦

サステナブル山県 vol.2 アンバイエ de遊ぼう Let's SDGs 開催

9月16日、17日に、キャンプ場&BBQ山県アンバイエで、サステナブル山県 vol.2が開催されました。

サステナブル山県とは、SDGsや地域脱炭素がどういうものなのか、身近に感じてもらうための参加型イベントです。今回は、「森林の有効活用」をテーマに、さまざまな体験ブースが用意されました。当日は多くの親子が参加し、薪まきづくり体験や間伐材を使ったコースター作りなど、自然豊かな当市のキャンプ場で遊びながら楽しくSDGsや地域脱炭素を学び、自然環境の保全や地域資源の有効活用について理解を深めることができました。

10月21日、22日には、「農業と食」をテーマにサステナブル山県 vol.3が開催されます。遊びながら楽しくSDGsや地域脱炭素を学び、カーボンマイナスチャレンジ2050を合言葉に、今できることから取り組みましょう。

